

# 所 管 事 務 調 査 報 告

平成24年 6 月 1 9 日

薩摩川内市議会総務文教委員会  
委員長 永 山 伸 一

## 1 調査事項

- (1) 消防・防災行政について
- (2) 公共施設の活用について
- (3) 教育・文化行政について

## 2 調査先

千葉県八千代市、千葉県佐倉市、東京都千代田区

## 3 調査日

5月15日から17日まで（3日間）

## 4 出席委員

永山委員長、中島副委員長、大田黒委員、堀之内委員、福田委員、新原委員、福元委員、持原委員

## 5 調査目的

本市で進められている消防庁舎等建設事業について、議会として適切なチェックができるよう先進事例を視察し、また、資産管理施策であるファシリティマネジメントの先進地を視察することにより、本市所有施設の有効活用及びコスト削減ができないか調査し、さらに、本市の図書館行政の参考とするため図書館運営の先進例を調査する。

## 6 調査概要

### (1) 消防庁舎等建設事業（千葉県八千代市）

八千代市では、平成16年度から平成19年度までの4箇年の継続事業として本事業が進められ、消防本部・中央消防署が入る消防庁舎、市民訓練施設、救助訓練施設等が建設された。敷地面積は8,270平方メートルであり、消防庁舎は、免震構造の鉄骨造3階建てで、建築面積約1,500平方メートル、延床面積約4,300平方メートルとなっており、避難施設としての機能も有していた。

1階は、総合受付のほか、中央消防署となっており、消防ポンプ車や救急車などが配置されている。2階にある「高機能消防指令センター」は、通報受信から災害現場到着までの時間を短縮するため、最新のコンピュータ及び通信技術を駆使した高所監視カメラ、GPS機能を利用した車両管理装置等が導入されており、その性能を実際に確認することができた。また、同フロアには、大規模火災を始め市内の広域災害に対処するため、警防指揮本部や八千代市災害対策本部を開設できる作戦室や女性消防士にも配慮された仮眠室もあり、3階には、消防本部の事務室や講堂が設置されていた。

なお、煙中訓練や消火訓練を市民が体験したり、講習会ができる付属施設

も整備されており、実際に体験することができた。

## (2) ファシリティマネジメント推進事業（千葉県佐倉市）

ファシリティマネジメント（FM）とは、企業・団体等が組織活動のために、施設とその環境（ファシリティ）を総合的に企画・管理・活用（マネジメント）し、ムダ・ムリ・ムラを無くす経営活動のことである。

これまで公共施設は、多くの自治体でその施設に関わる部署により個別に管理されてきたが、佐倉市では、施設の管理について横断的に関わる資産管理経営室を設置した。更にFMという新たな管理方法を取り入れ、市の資産に係る経費の最小化、施設の効用の最大化を図り、公共施設などを良質な資産として次世代に適切に引き継ぎ、次世代の負担を軽減することを目指している。

取組内容としては、まず、保全情報システムを導入して、用途、構造、面積、光熱水費、修繕情報など市有建築物のデータを収集・分析し、総合的な公共施設の維持を図っている。このほかにインハウスエスコ及びエスコ事業の実施、施設白書の作成、自治体間の連携などを行っている。なお、インハウスエスコ事業とは職員による省エネルギー施策を指す。

また、老朽化した市立保育園の改築事業に当たり、隣接の駐車場に新園舎を建設することにより、仮設園舎建設費を不要としたり、消防署の耐震補強工事に当たり、使用されていない上層階を削る工法（減築）により耐震補強工事費を削減するなどの取組も行っていった。

## (3) 図書館運営事業（東京都千代田区）

千代田図書館は、平成19年の区役所の新庁舎移転に伴い、区役所の9・10階部分に整備された図書館であるが、3社の指定管理者により運営され、各指定管理者の専門分野を生かした業務を行っている。特徴としては、基幹となる「図書館サービス」機能に加え、展示やイベントの企画運営や新規サービスの立案などを行う「企画」機能と利用者やマスコミへの情報発信などコミュニケーションを担う「広報」機能を持っていることである。利用者数は直営時に比べると2～3倍となり、貸出冊数も大幅に伸びているということであった。

千代田区の人口は約4万8千人であるが、昼間のビジネスパーソンは約85万人であり、また、出版産業を地域産業に持つなどの他の地域とは違った環境であることもあり、図書館においては特徴的なサービスが行われている。具体的には、日本の公共図書館では初めてのサービスである電子図書の貸出・返却ができる千代田ウェブ図書館、図書館の総合案内やガイドツアー、店舗情報を含めた地域の案内や古書店案内を行うコンシェルジュサービスなどである。

## 7 所感

- (1) 本市でも消防庁舎に体験施設の整備が計画されており、市民が火災・地震等の災害に自分で対処する力を身に付けられることを期待したい。

- (2) FMという耳慣れない言葉ではあったが、その事業の成果には目を見張るものがあった。よって、本市でもFMの導入を積極的に検討する必要性を感じた。
- (3) 行政規模や図書館の利用方法などが違う千代田区と本市の図書館運営を比較するのは無理があるが、指定管理者制度及びウェブ図書館の導入は研究すべきと感じた。